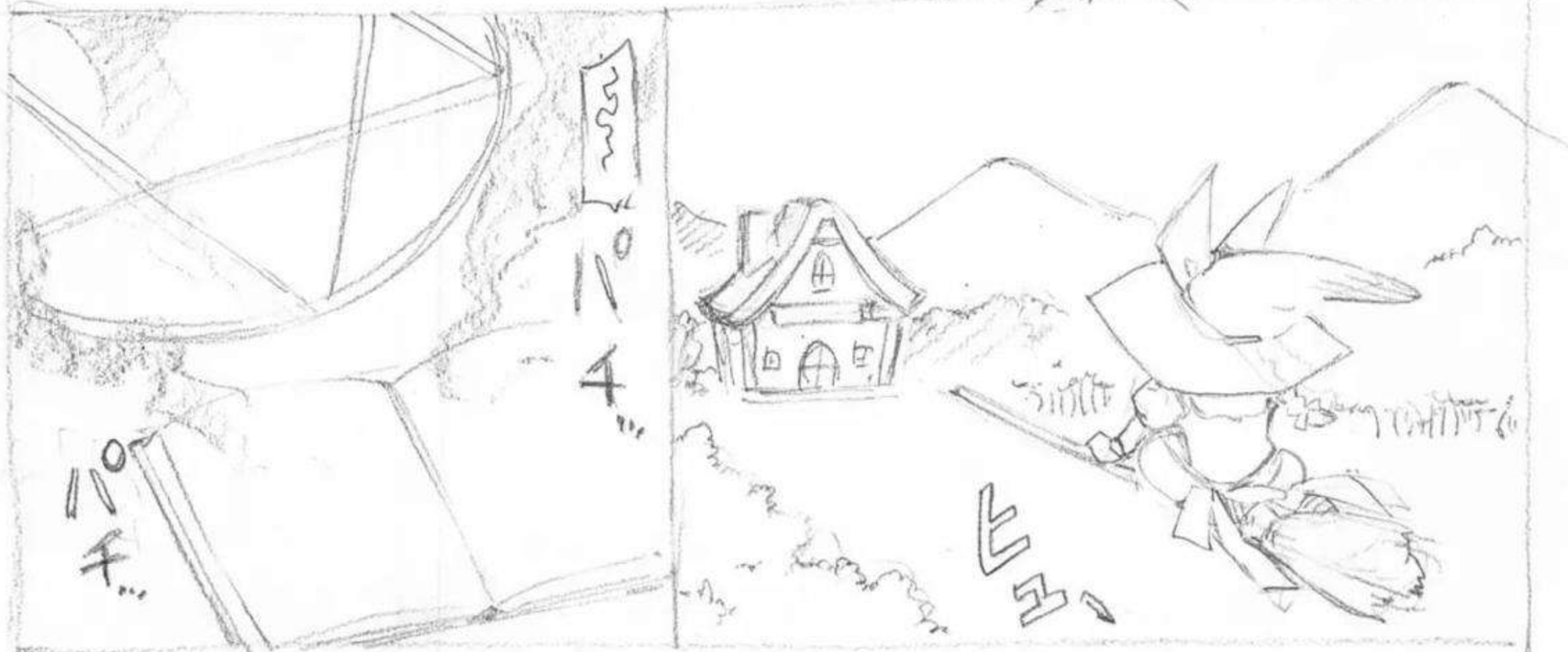


こらっ
魔理沙っ

もう!ちゃんと
返さないよっ

そんじゃこの本、
ちよつと借りてくぜ



ヒュッ

10
10
4

10
千



おゝなんか
出てきたぞ

俺を呼び出した
のはお前か…？

まあまあ、
お茶でもどうぞ

お前、
魔族か？

なんだ、知らずに
呼び出したのか
…ああ、そうだ

…



なるほど、
この部屋の様子…
魔法の研究してるのか

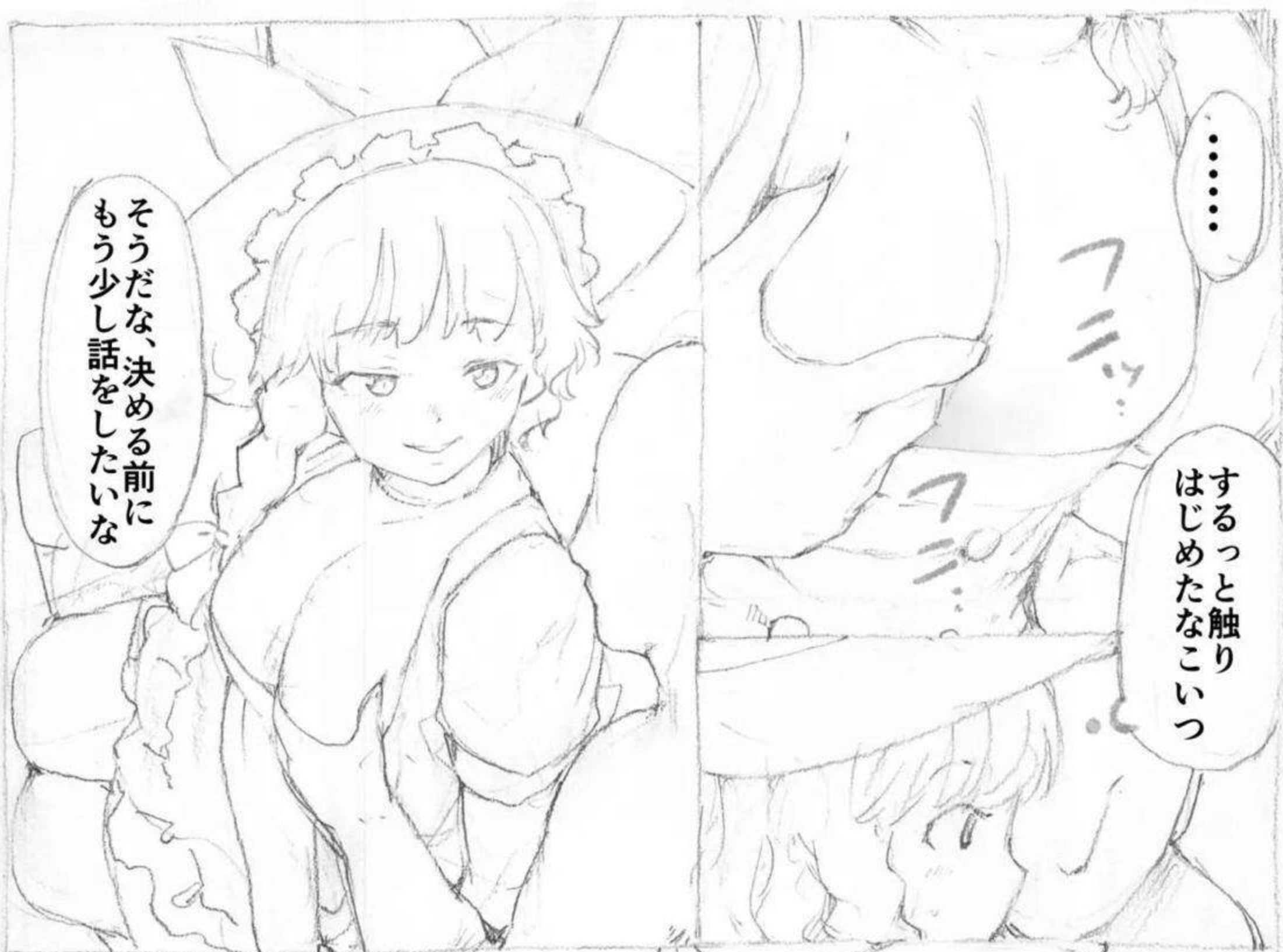
俺の魔族の力が
助けになるだろう

だが、
そのためには
契約が必要だ

こいつ、ちよつと
変わったタイプだな

うーん
そうだなあ…

尻まで…



.....

するっと触り
はじめたなこいつ

そうだな、決める前に
もう少し話をしたいな



んっ...

んう...

ふはっ...

さあ、どうする？
契約するか...？

契約の代償は
なんだ？
私は何を支払う？

性の昂りだ、
俺はそれを
糧にする

ほーん、それで研究が
捗るなら安いものだな

ペロ

ペロ

おお？

ビーン

クル
クル
クル

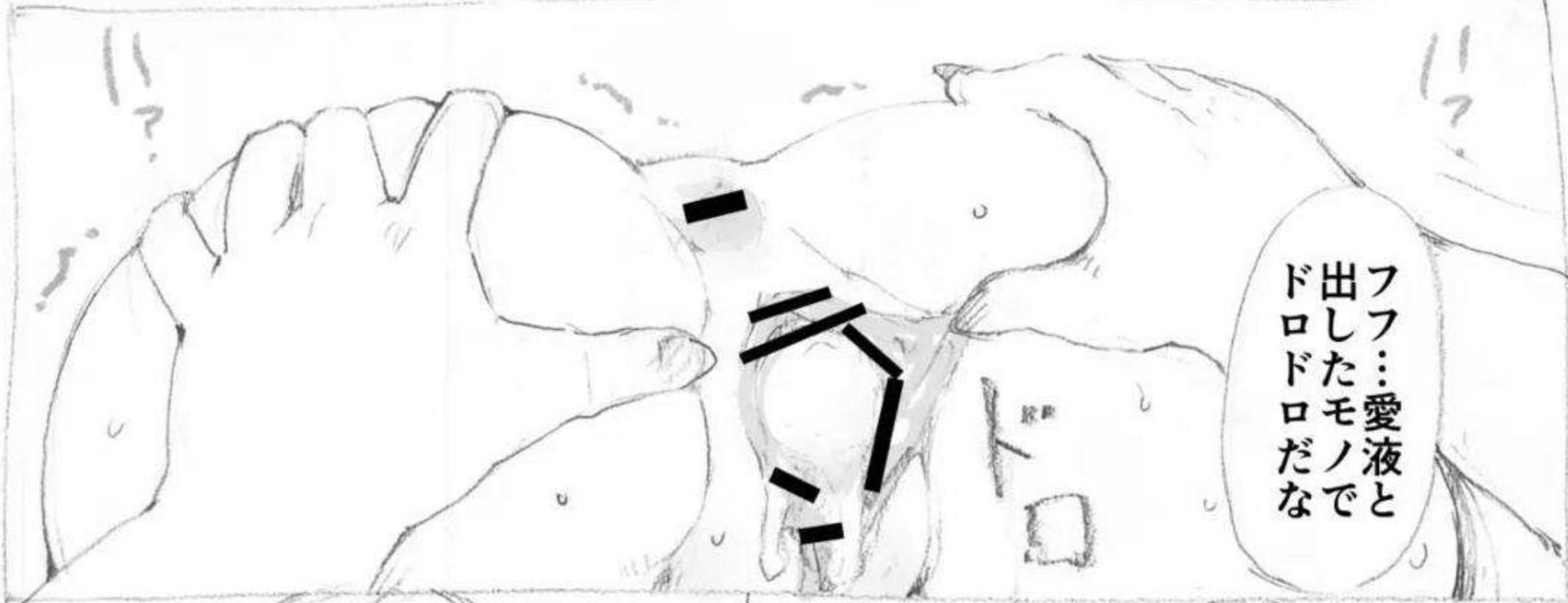
はあんっ、
んっ…♡

んあっ

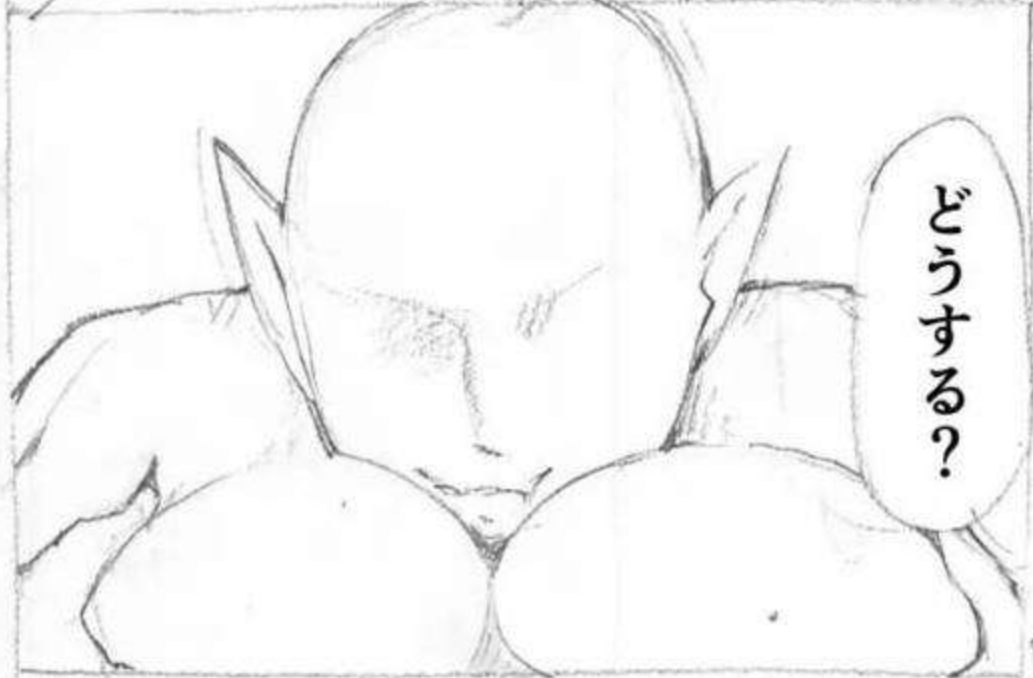








フフ：愛液と
出したモノで
ドロドロだな



どうする？



だが、契約に
必要な分には
まだ「ω」といった
ところ…

…



まだやり
足らない
だろう？

勿論やるさ

やばい、
イキっぱなしで
頭真っ白…

はあ…はあ…

くるん



はあっはあっ

はあっはあっ
感じるっ...
中でえぐってる...

すっかり
ドロドロに
なったな

はあっ、おおっ
あっあっ!

はあっ
ああっ...っ!

それっ更に
一発!

ビュッ

ビュッ

ぱん

ぱん

ぱん
ぱん

んちゅ

ちゅ

はあ…はあ…

あー
はー

ドロッ

コッ

コッ

ビッ
ズッ

きん
ぐ

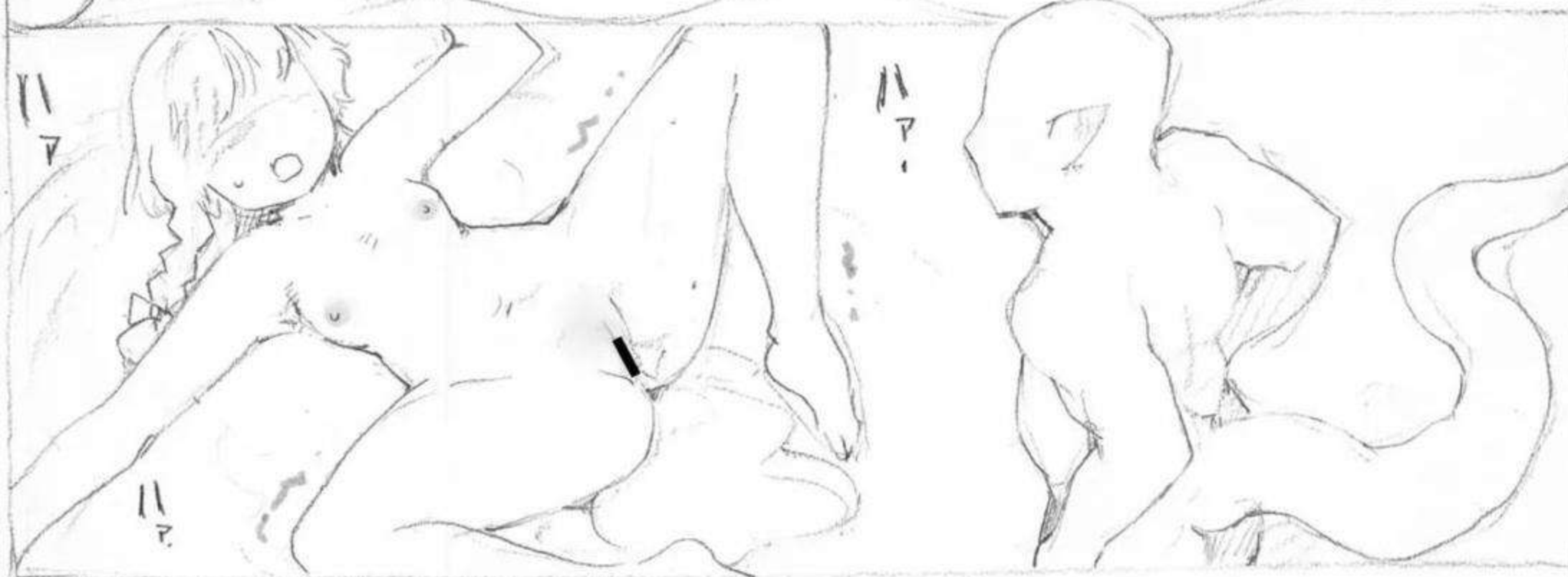
んん

あー

精液でいっぱいの
子宮に更に
注いでやるぞ！

奥までたっぷり
染め上げて
やるぞっ







お試しとはいえ
淫魔の
言葉は嘘でなく、
研究は捗った

だが体は彼との情事は
魔理沙の体に
消えることのない熱を
灯していた

近いうちにまた淫魔を
呼ぶことになる
魔理沙は確信していた

じゃあ